

# 宮古ブロックにおける地域の産業教育の拠点となる専門高校の整備について

【策定趣旨】 地域における学校の役割を重視した魅力ある学校づくりに向けて、地域の社会情勢や産業振興の動向等を踏まえ、学ぶことができる教育環境の整備を図るもの

## 1 現状

### (1) 地域産業の状況等

- 物流基盤の整備が進み、基幹産業である水産業をはじめ、ものづくり産業の振興や、多様な地域資源を生かした交流人口の拡大が見込まれる。
- 漁業協同組合の組合員数は減少しており、高齢化の進行に伴う減少の継続が見込まれる。

#### (参考1) 年齢階層別の漁業就業者数の推移

年齢階層	H5	H10	H15	H20	H25	H30
30歳未満	956	525	438	430	312	360
30代	1,917	1,263	859	695	431	484
40代	3,373	2,480	1,599	1,349	871	736
50代	4,407	3,186	2,752	2,374	1,362	1,184
60歳以上	4,488	4,989	4,824	5,100	3,313	3,563
計	15,141	12,443	10,472	9,948	6,289	6,327
60歳以上構成比	29.6%	40.1%	46.1%	51.3%	52.7%	56.3%

漁業センサス（農林水産省）を加工

### (2) 専門教育を行う高校の状況

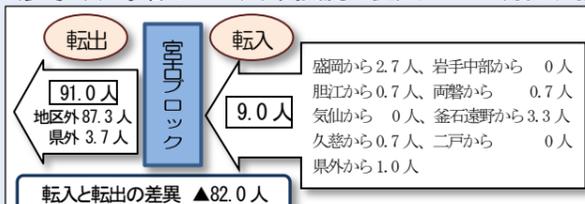
#### ■ 宮古商工高校の入学者数推計 (H27、R2は実績値)

	H27	R2	R3	R4	R5	R6	R7
223	158	157	156	167	160	141	

#### ■ 宮古水産高校の入学者数推計

	H27	R2	R3	R4	R5	R6	R7
学校全体	75	46	48	49	52	50	44
うち水産学科	(48)	(12)	(15)	(14)	(15)	(15)	(13)

#### (参考2) 入学者のブロック間交流の状況(H30～R2年度の平均)



※公立高校の全日制・定時制及び私立高校を対象（過年度卒を含む）  
※四捨五入の関係で、計が一致しない場合がある

#### (参考3) 宮古ブロックの中学校卒業生数見込み

	R2年3月	R3年3月	R4年3月	R5年3月	R6年3月	R7年3月
571	580	553	621	574	511	

## 課題

専門学科の入学者を確保し、地域の商業、工業、水産、家庭等に関する教育を維持しながら、地域産業を支える人材を育成する必要がある。

### 地域検討会議における主な意見

- 地域で学ぶ教育環境をしっかり守ることが大切である。水産、工業、商業等に関する専門学科の存続を図り、今後の専門教育の在り方を考えてほしい。
- 地域経済をけん引する産業への就業者の定着を担うのが高校の責務である。
- 宮古商工と宮古水産を新校舎建設のもとで統合し、沿岸地区の産業教育の拠点校とするべきである。

## 2 学校の統合による魅力向上化

### 宮古商工高校

定員 200 名：5 学科 5 学級  
[工業：機械システム科・電気システム科]  
[商業：総合ビジネス科、流通ビジネス科、情報ビジネス科]

専門教育を実践する  
2校の発展的統合

### 宮古水産高校

定員 80 名：2 学科 2 学級  
[水産：海洋生産科、家庭：食物科]  
※専攻科（漁業科）定員 15 名、修業年限 2 年

### 宮古ブロックにおける総合的な専門高校の設置（令和7年度）

定員 240 人：6 学級校（学科数：工業 2、商業 2、水産 1、家庭 1）

ブロック内の各専門分野に関する特色ある学科の機能を維持した統合により、複数の職業系専門学科を併置した「総合的な専門高校」として再編

- 現行の両校における、各学科の学びを維持
- 統合形態については、校舎の老朽化を踏まえ、新校舎建設を視野に入れ、方向性を検討
- 宮古水産高校の専攻科を維持

### 統合による効果

#### ① 商業、工業、水産、家庭が連携した学びの充実

- 他学科の学びの体験等により新たな時代をリードする産業人材の育成（「総合的な探究の時間」等を活用した学びの交流）
- 地元企業や団体と協力して開発した製品等を活用・流通させる学びの実践（基幹産業である水産業における生産、加工、流通、販売を一体的に捉え、その生産性の向上や高付加価値化への取組等）
- 海洋生産科の船舶運航コースと工業系学科が連携した機械操作、運転、修理等に関する学習
- 同じ学校でそれぞれの分野を学んだ卒業生同士の連携による地域産業の振興

#### ② 学校規模の拡大による活動の活性化

- 体育祭、文化祭等における企画の内容の拡大、充実
- 部活動の充実、選択肢の増加（新たな部活動新設の可能性）

#### ■ R2部活動の設置状況

区分	部活動	学校名																																		
		硬式野球	弓道	剣道	柔道	サッカー	バレーボール	ラグビー	ソフトテニス	ソフトボール	卓球	バスケット	バドミントン	陸上	ヨット	レスリング	ボクシング	マラソン	囲碁将棋	茶道	華道	写真	書道	吹奏楽	美術	太鼓	工作	パソコン系	家庭系	アクト	商業研究	JRC				
男子	宮古商工	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	宮古水産	○																																		
女子	宮古商工																																			
	宮古水産																																			

#### ③ 男女バランスの平準化

〔R2在籍生徒の状況〕 宮古商工高校：男子 316 人、女子 211 人（うち、工業学科 6 人）

宮古水産高校：男子 46 人（うち、水産学科 34 人）、女子 101 人（うち、水産学科 6 人）

〔2校合計〕  
男子 362 人、女子 312 人

統合・新設校の校名、校舎・施設設備、学科の構成等に関する具体的な内容については、統合対象校の校長等、PTA及び同窓会、並びに所在地の教育委員会及び地域の中学校の代表者等で構成される統合検討委員会を設置し、委員の皆さんの意見を伺いながら検討します。

## 3 宮古地域の振興に向けて

### ○ 専門分野の特色等（主なもの）

#### 【宮古商工高校】

- [商業]・模擬株式会社「宮商デパート」の開催  
・各種検定、資格取得の励行
- [工業]・防災まちづくり大賞 総務大臣賞  
・全国ものづくりコンテスト東北大会入賞  
・各種検定、資格取得の励行

#### 【宮古水産高校】

- [水産] [船舶運航コース]  
・船舶専用機関の操作、運転等の学習  
・「りあす丸」による漁業航海実習
- [食品資源コース]  
・養殖等を通じた6次産業化の学習  
・食品衛生管理（HACCP等）の学習
- [家庭] 調理師資格の取得（厚労省の指定学科）

各高校の実績・成果を継承し、  
更なる向上への取組を図る

専門的な学びを希望する、  
より多くの生徒が集う学校へ

宮古地区の中学校から 91.0 人がブロック  
外の学校に進学（H30～R2年度の平均）

【宮古地区の生徒を他地区に流出させない】

宮古地域の産業・社会を支える  
人材を、この地域で育成する

### いわて県民計画(2019～2028)

#### 「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」の推進へ

- 東日本大震災津波からの復興の取り組みにより大きく進展した街づくりや交通ネットワーク、港湾機能などを生かした地域産業の振興
- 三陸地域の多様な魅力の発信による国内外との交流の活発化等

岩手県の国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展するゾーンの創造